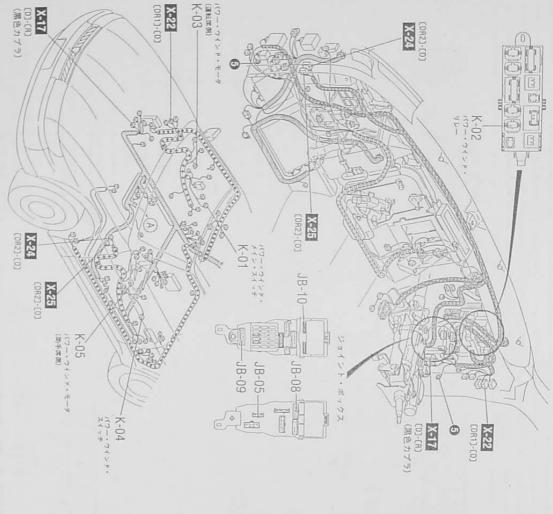


0

リレー・ボックス (ダッシュ)



0

パワー・ウインド

作動

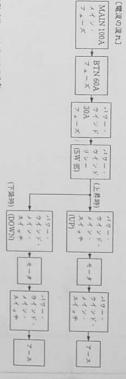
- 通転搭頭のインドは、パワー・ウインド・メイン・スイッキの貸し物賃により、ワンタッキやアップまたはダウン出来る機構を採用したいる。
- ・パワー・カインド・メイン・スイッチの上口は、パワー・カッド・スイッチが接種されたおり、類単態盤パワー・カインドナブスイッチの接信を規範出来も提信なったいる。
- ・イグニッション・スイッチを OFF したも、40 参加はパワー・ケインド作動が可能である。

### ▼ 運転席頭パワー・ウインドの作動

1. イグニッション・スイッチを ON すると、パワー・ウインド・リレー内コイルのアース回路が TWS ユニット内で収立する B、リレー内スイッチが ON する。

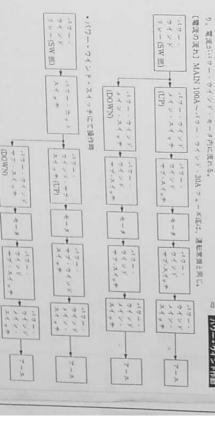
パワー・ウインド・メイン・スイッチを押すと、スイッチ内の昇降スイッチが切り替り、電便が、パワー・ウインド・キータ内に使れる。
労 労

・選託常別は、メイン・スイッチから手を難しても、スイッチ内部のコイルの動きにより、昇降スイッチがON したままになる。(自動昇降機能) 「確定の変れ」



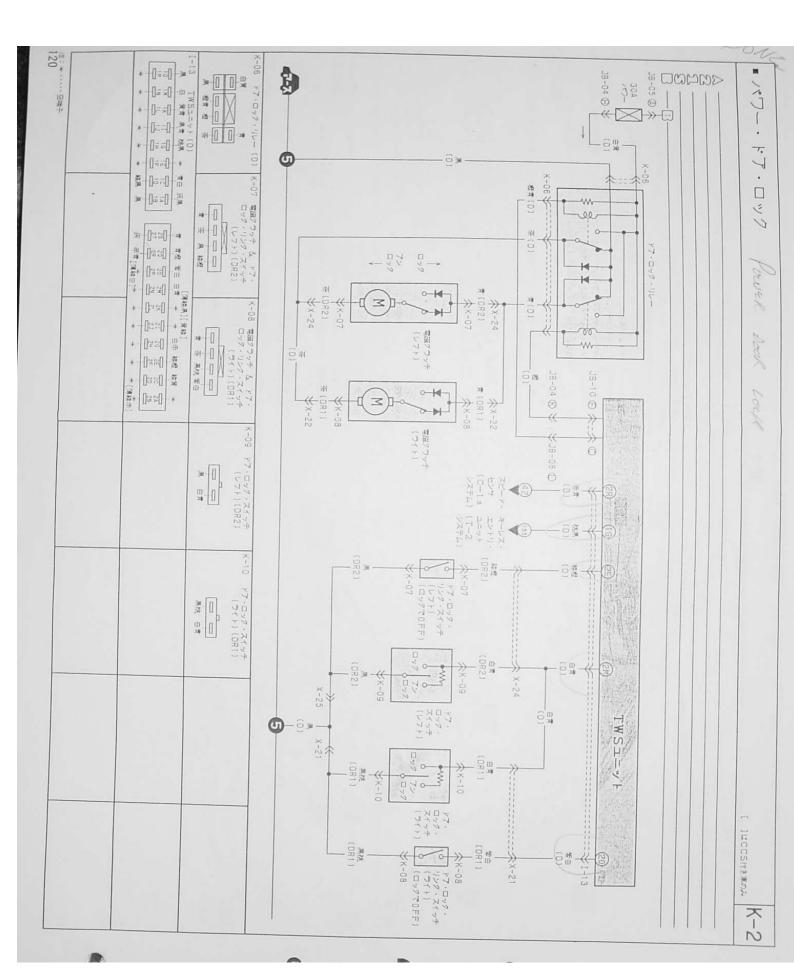
助手席側パワー・ウインドの作動

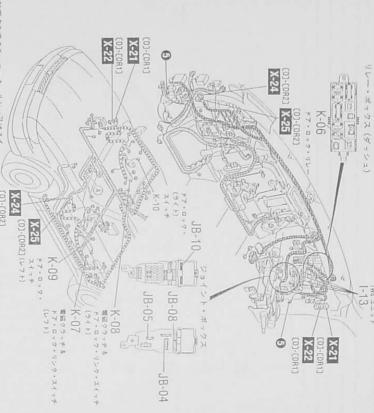
1. イターッション・スイッチをONすると、パワー・ワインド・リレー内コイルのアース回路がTWS ユニット内で気立する為、リレー内スイッチがONする。



6

◆ よがコッション・スペッチ:ON—OFF 後 40 のM 1. パワー・ウネンド・リット的コイドのアース回路が TWS ニュット内の見立する場。リット的スペッチがON 等と的 1. ポワー・ウネンド・リット的コイドのアース回路が TWS ニュット内の発音のイグニッション・スペッチ:ON 等と的 1. 利用がパワー・ウインド・メイン・スイッチに加えられたいる。(後の作物のイグニッション・スペッチ:ON 等と的





チ本体の端子にテスターを提続し、導通状態を確認する。 以下配線色に対応するアクチュニータ、リレー又はスイッ

導通点檢

## ドア・ロック・アクチュエータ

ドア・ロック・アクチュエータを収外す。 アッチュニータ・コネクタの C 隔子に電源、 d 隔子にマ

イナスを接続したとき、アクチュニーラがコック(引く)

3.12V、アースの接続を逆にしたとき、アンニック (神び 作動することを確認する。 る) 作動することを確認する。

・ロック、アンロックの際、ロッドの作動ストロークが 8.5~9.3mm の範囲にあることを同時に確認する。 を手で動かして、a、b 漢子間の疎通を短期する。

	#: c	伸ばす	215	
H	幕通を示す。			超小 2
		9		а
+111		H		
				0,

1

スピード・センサ J-1 を参照 (p. 100)。

TWS == - + と参照 (p. 152)。

1. テスタで各項子間の再通を確認する。 ドア・ロック・リレー

理 対 (	Tuby × 州ー海 〇 一番	法一日資 × 西	一語 × ボー語塔 ×	- 州 〇 州 - 南 ×	子間 再通 医手間 再通
	1	I	1	I D	+11

### 導通あり、×:導通なしを示す。

・オーム・レンジは ×1000 で行うこと。

- 「朗通あり」とは、少しでも超通があるときも「現通 あり」としている。

9	1			12		-	7,
			抗値が下記の通ったあることを確認する。	サスコ	7	7.3	ドア・ロック・スイッナ
	OF	1.1	21.4	五五五		11	
	4		正の	通し		9	0 0
١			0	4		N A	
١			04	4.3		4	ンイ
١			17	u		3	2
ı			温温	4		1	4
		発見	4	34		34	
>	8	表式道(印)	1	4		11	
		13		4		3	
				2. テスタを使用して、ドア・コック・スイッチ属す面の点		ドア・ロック・スイッチのハーキス・コネクタを引題	

パワー・ドア・ロック

パワー・ドア・キョグに4級組あり、全てTWS ユニッドにご数据されている。 1、リモコン操作によるドア・ロック/ロック解除

2. 運転常別又は助手密別のドア・ロック・スイッチ操作、運転需頼でのイダニッション・キー、ドア・ロック・ノブ操作に 3. 車速による自動ドフ・ロック よるドア・ロック/ロック解除、通転原道インナ・ベンドル通常によるロック解除

イグニッション・キー抜き忘れを防止する自動ロック解除

## リモコン操作によるドア・ロック/ロック解除

連転緊側及び、助手緊側が共にロックされている場合は、トランスミックを押する、全ドア、ロック解除する。 ・通知常貞又は、助手常質のどちらかがロック解除されている場合は、トランスミックを押すと、全ドア、ロックする。

遺伝路側又は脚手路側のドア・ロック・スイッチ提供、遺伝探点でのイタニッション・キー、ドア・ロック・ノブ提供による + ア・ロック/ロック解除、道転席倒インナ・ハンドル操作によるロック解除

。運転開頭のドア・ロック・ノブをロック/ロック解除すると全ドア、ロック/ロック解除する。 ・運転需領又は、助手限側のドア・ロック・スイッチをロック/ロック解除にすると、全ド7、ロック/ロック解除する。

・運転需須のドア・キー・シリンダをキーでロック/ロック解除にすると、全ドア、ロック/ロック解除する。 - 運転期間のインナ・ベンドルを引くと全ドア、ロック解除する。

・車達が約20km/h 以上になると、全ドア、ロックさせる。

# イグニッション・キー抜き忘れを防止する自動ロック解除

単連による自動ドア・ロック

・イブニッション・キーをイブニッション・キー・シリンダに差し込んだ状態で、運転開闢又は、助手原質のドアを開け た状態だけ、ロック田来ない。

◆ドア・ロック作動(各スイッチから、ドア・ロック作動の指示がある時) 1. ドア・ロック解除の状態では、ドア・ロック・アクチュエータ内スイッチは、③ 側に ON している。

3. 電流が、ドア・ロック・リレーを介してドア・ロック・アクチュエータ内面へ流れる。 スイッチ ⑤ が ON される。(スイッチ ⑥ は、ロック解除用コイルのアース回路が反立しない為、ON しない。) □ ドア・ロック作動

2. ドア・ロック・リレー内コイル (ロック用) のアース回路が、TWS ユニット内面で収立するあ、ドア・ロック・リレー内

(電流の流れ) MAIN 100A BTN 60A 7 - 30A - 70- 970-(x++ + A) 79+2=-9 77422-8

◆ドア・ロック解除作動(各スイッチから、ドア・ロック解除の指示がある時)

3. 電流が、ドア・ロック・リシーを介したドア・ロック・アクチュエータ内部へ直れる。 2. ドア・ロック・リレー内コイル(ロック解染用)のアース回路が、TWS ユニット内面で収立するA、ドア・ロック・リ 1. ドア・ロックの状態では、ドア・ロック・アクチュニータ内スイッチは、⑧ 気に ON している。 レー門スイッチ ® が ON される。(スイッチ ® は、ロック用コイルの7 - ス回路が成立しない為。ON しない;) □ ドア・ロック解除作動

